

叙勲受章者

永年にわたる職務に対する功労や社会貢献をたたえる叙勲の受章者をご紹介します。市内からは、旭日小綬章を海老原 弘 氏^{えびはらひろし}が、瑞宝単光章を豊島博行氏^{とよしまひろゆき}が、瑞宝双光章を鈴木喜代志氏^{すずききよし}が受章されました。

旭日小綬章【春の叙勲】

海老原 弘 氏（谷井田）76 歳

■元 つくばみらい市議会議員

海老原氏は、平成3年に伊奈町議会議員に就任されてから、市制施行を経て令和2年に市議会議員を退任されるまで、7期28年間の永きにわたり、副議長をはじめ要職を歴任されました。市民のためのまちづくりを念頭に、福祉の充実や生活基盤の整備に精力的に取り組み、市の発展に大きく寄与されました。



瑞宝単光章【春の叙勲】

豊島博行氏（板橋）68 歳

■元 つくばみらい市消防団長

豊島氏は、昭和57年に当時の伊奈村消防団に入団。平成30年4月に消防団長の任命をうけ、37年間の永きにわたり、地域住民の安全安心な暮らしを守るためご尽力されました。令和元年東日本台風では、鬼怒川の増水による越水で市内の幼稚園への浸水が発生した際も、全団員を招集し、陣頭指揮を行い、被害を最小限に留めました。



瑞宝双光章【死亡叙勲】

故 鈴木喜代志氏（伊丹）

■元 つくばみらい市消防団長

鈴木氏は、昭和47年に当時の伊奈村消防団に入団。平成24年4月に消防団長の任命をうけ、46年間の永きにわたり、地域住民の安全安心な暮らしを守るためご尽力されました。平成27年関東・東北豪雨災害では、いち早く現場に出向き消防団員の指揮をとるなど、消防署員と協力し、昼夜を問わず排水作業や堤防巡視に奔走されました。



くらしの Q & A

[今月のテーマ]

食品による乳幼児の窒息事故

Q

食品による乳幼児の窒息事故を防ぐには、どんなことに注意すればよいですか。 (30代、女性)

問 市消費生活センター（谷和原庁舎1階）

☎0297 - 25 - 3288

A

乳幼児に豆やナッツは食べさせないで！

厚生労働省の人口動態調査によると、平成26年から令和元年までの6年間に、食品で窒息したことにより、5歳以下の子ども73人が亡くなっています。

窒息事故は菓子・果物・パンなど様々な食品で起きていますが、中でも豆やナッツ類による事故が後を絶ちません。乳幼児は食品をかみ砕く力や飲み込む力が未発達なため、豆やナッツ類がのどや気管に詰まると窒息の危険が高くなります。乳幼児には食べさせないようにしてください。ミニトマトやブドウなど、丸くてつるつるしている食品も窒息を起こす危険があります。乳幼児には小さく切ってから食べさせましょう。

また、口に物を入れたまま走ったり、寝転んだり、大声を出したりすると、食べ物が不意にのどや気管に詰まりやすくなり危険です。食事の時には座って姿勢をよくし、食べることに集中させましょう。



市消費生活センター
イメージキャラクター
まみりん